

## 1. 学歴

1998年 3月 神戸大学経済学部 卒業  
2000年 3月 大阪大学大学院経済学研究科 修了  
2006年 5月 ロチェスター大学経済学部 Ph.D.取得

## 2. 職歴・研究歴

2006年 4月 - 2008年 3月 立命館大学 経済学部 准教授  
2008年 4月 - 2016年 3月 横浜国立大学 国際社会科学研究院 准教授  
2014年 8月 - 2015年 3月 グラスゴー大学 アダムスミス・ビジネススクール 客員研究員  
2016年 4月 - 一橋大学大学院経済学研究科 教授  
2022年 4月 - 2023年 3月 ボストン大学 経済学部 客員研究員

## 3. 学内教育活動

### A. 担当講義名

#### (a) 学部学生向け

上級ミクロ経済学, 上級理論経済学 I

#### (b) 大学院

上級ミクロ経済学, 上級理論経済学 I, 経済理論ワークショップ

### B. ゼミナール

学部後期, 大学院

### C. 講義およびゼミナールの指導方針

ミクロ経済学の内容は、定義・定理・証明というプロセスに表されているように、抽象化、形式化されている。講義では、図やグラフによる直感的理解、定理の証明の基本ステップ、経済学的含意などを重視して説明を行う。それと同時に、受講者はテキストや講義ノートの証明をじっくりと読み、練習問題を解くことで、厳密な数学的議論に習熟することが重要である。経済学は積み上げ式の学問であり、ミクロ経済学はその基礎にあたる。今後様々な応用科目を学んでいくためにも、直感的理解と厳密な論証を結びつける訓練をしてもらいたい。

学部ゼミナールでは、ミクロ経済学の基礎を前提として、意思決定理論に関するテキストを輪読する。ゼミナールを通じて、自ら研究テーマを設定し、主体的に勉強する姿勢と、自分が理解している内容を他人に分かりやすく伝えるプレゼンテーションの技術を身につけてほしい。大学院ゼミナールでは、意思決定理論に関する論文の発表を通じ、オリジナリティのある論文を作成できるよう指導を行う。

## 4. 主な研究テーマ

意思決定理論とその応用。特に以下のテーマについて研究している。

- (1) 主観確率, および主観的情報構造の公理的研究
- (2) 誘惑と自制の意思決定
- (3) 時間選好率と異時点間選択

## 5. 研究活動

### A. 業績

#### (a) 著書・編著

尾山大輔・安田洋祐 編著『経済学で出る数学』日本評論社, 2013年, 第9章(確率とリスク)を執筆

#### (b) 論文(査読つき論文には\*)

- \*"On the Consistency of Stationary Markov Equilibria with an Exogenous Distribution," *Journal of Economic Theory*, Vol.113, p.316-324, 2003.
- \*"Stationary Markov Equilibria on a Non-Compact Self-Justified Set," *Journal of Mathematical Economics*, Vol.42, pp.269-290, 2006.
- \*"Subjective Probability over a Subjective Decision Tree," *Journal of Economic Theory*, Vol.136, pp.536-571, 2007.
- \*"Comment on "Ellsberg's two-color experiment, portfolio inertia and ambiguity", (joint with Youichiro Higashi, Sujoy Mukerji, and Jean-Marc Tallon), *International Journal of Economic Theory*, Vol.4, pp.433-444, 2008.
- \*"Subjective Random Discounting and Intertemporal Choice," (joint with Youichiro Higashi and Kazuya Hyogo), *Journal of Economic Theory*, Vol.144, pp.1015-1053, 2009.
- \*"Uphill Self-Control," (joint with Jawwad Noor), *Theoretical Economics*, Vol.5, pp.127-158, 2010.
- 「誘惑と自制の意思決定」日本経済学会編『現代経済学の潮流 2012』, 第5章, 東洋経済新報社, 2012.
- \*"Stochastic Endogenous Time Preference," (joint with Youichiro Higashi and Kazuya Hyogo), *Journal of Mathematical Economics*, Vol.51, pp.77-92, 2014.
- \*"A Theory of Subjective Learning," (joint with David Dillenberger, Juan Sebastian Lleras, and Philipp Sadowski), *Journal of Economic Theory*, Vol.153, pp.287-312, 2014.
- \*"Menu-Dependent Self-Control," (joint with Jawwad Noor), *Journal of Mathematical Economics*, Vol.61, pp.1-20, 2015.
- \*"Learning the Krepsian State: Exploration through Consumption," (joint with Evan Piermont and Roe Teper), *Games and Economic Behavior*, Vol.100, pp.69-94, 2016.
- \*"Comparative Impatience under Random Discounting," (joint with Youichiro Higashi, Kazuya Hyogo, and Hiroyuki Tanaka), *Economic Theory*, Vol.63, pp.621-651, 2017.
- \*「異時点間選択理論の新展開」一橋大学経済研究所編集『経済研究』第72巻 第2号, 2021.
- \*"Optimal Discounting," (joint with Jawwad Noor), *Econometrica*, Vol.90, pp.585-623, 2022.
- \*"Imprecise Information and Second-Order Beliefs," (joint with Takashi Ui), *Communications in Economics and Mathematical Sciences*, Vol.1, pp.67-86, 2022.
- \*"Habit Formation, Self-Deception, and Self-Control," (joint with Takashi Hayashi), *Economic Theory*, Vol.74, pp.547-592, 2022.

## B. 最近の研究活動

### (a) 国内外学会発表(基調報告・招待講演には\*)

"Imprecise Information and Second-Order Beliefs," SAET Conference, Academia Sinica, Taipei, 2018年6月11日

"Information Acquisition with Subjective Waiting Costs," Risk, Uncertainty, and Decision Conference, Paris School of Economics, Paris, 2019年6月6日

\*"Information Acquisition with Subjective Waiting Costs," Asian Meeting of the Econometric Society, Xiamen University, Xiamen, 2019年6月15日

"Costly Subjective Learning," SAET Conference, Seoul, オンライン形式, 2021年8月17日

"Coase Information Acquisition," Asian Meeting of the Econometric Society, 慶應義塾大学/東京大学, ハイブリッド形式, 2022年8月8日

### (b) 国内研究プロジェクト

科学研究費補助金基盤研究(C)「認知的最適化による時間選好率の理論」(No.18K01503), 2018年 - 2020年度(研究代表者)

京都大学経済研究所プロジェクト研究「主観的学習の理論とその拡張」, 2018年度(研究代表者)

京都大学経済研究所プロジェクト研究「主観的学習理論の拡張: 情報収集と曖昧性」, 2019年度(研究代表者)

科学研究費補助金国際共同研究強化(A)「認知的最適化モデルによる限定合理性, リスク, 異時点間選択, 利他性の融合」(No.19KK0308), 2019年 - 2022年(研究代表者)

科学研究費補助金基盤研究(C)「曖昧性下の情報獲得問題の公理的研究」(No.21K01386), 2021年 - 2024年度(研究代表者)

### (c) 国際研究プロジェクト

Optimal Discounting (joint with Jawwad Noor)

Coase Information Acquisition (joint with Youichiro Higashi, Kazuya Hyogo, and Xiangyu Qu)

### (d) 研究集会オーガナイズ

第3回 Decision Theory Workshop, 一橋大学, 2018年5月26日, オーガナイザー

Hitotsubashi Summer Institute: Microeconomic Theory, 一橋大学, 2018年7月30日, 31日, オーガナイザー

第4回 Decision Theory Workshop, 岡山大学, 2018年10月13日, オーガナイザー

Hitotsubashi Summer Institute: Microeconomic Theory, 一橋大学, 2019年7月29日, 30日, オーガナイザー

第5回 Decision Theory Workshop, 小樽経済センター (SWET 共催), 2019年8月10日, オーガナイザー

第6回 Decision Theory Workshop, 一橋大学, 2019年10月26日, オーガナイザー

第8回 Decision Theory Workshop, オンライン, 2020年10月24日, オーガナイザー

Hitotsubashi Summer Institute: Microeconomic Theory, オンライン, 2020年11月28日, 29日, オーガナイザー

第9回 Decision Theory Workshop, オンライン (数理経済学会共済), 2021年5月22日, オーガナイザー

Hitotsubashi Summer Institute: Microeconomic Theory, オンライン, 2021年8月20日, 21日, オーガナイザー

第10回 Decision Theory Workshop, オンライン, 2021年10月23日, オーガナイザー

第11回 Decision Theory Workshop, オンライン, 2022年6月4日, オーガナイザー

Hitotsubashi Summer Institute: Microeconomic Theory, オンライン, 2022年11月13日, オーガナイザー

## 6. 学内行政

### (b) 学内委員会

一橋ジャーナル編集委員(2016 年 4 月 - )

経済 GLP 運営委員(2017 年 4 月 - 2020 年 3 月)

国際交流科目教員会議委員(2018 年 4 月 - 2019 年 3 月)

大学院教育専門委員 (2020 年 4 月 - 2022 年 3 月)

---

## 7. 学外活動

### (b) 所属学会および学術活動

日本経済学会, 数理経済学会, Econometric Society

### (d) 高校生向けの出張講義・模擬講義

出張講義(岡山県立岡山芳泉高校) 2018 年 9 月 15 日

出張講義(灘高校) 2019 年 6 月 22 日

模擬講義(福岡県立筑紫丘高校) 2019 年 12 月 20 日